

妖夢の休日



妖夢の休日



はあ……



ド
ド
ド
ド
ド
ド

一体どうすれば
いいんだろうなア……

休日って……



妖夢の休日



三日
前

妖夢：
あなたに
お話があります

はっ…

敵必及

突然
だけれど…

妖夢!!
今からあなたに
休暇を与えます!!



……は？

休暇……で
ございますか？





えっ…何です？
突然 休暇を
頂けるなんて…

私何か
いけない事でも
しました？

何よ!?!
妖夢は休暇が
貰えるのが
嬉しくないの!?!

いえっ…
そんな事は
ないですけど



それじゃあ
駄目なのよう!!
妖夢!!

あなたは私に仕えて
一生を終わらせる
つもりなの!?!

へっ!?!



そもそも妖夢…
あなた私に仕えてから
休暇を取った事が
あったかしら…?!

えっと…
病気になる時
くらいですかね?
療養の為に…



美味しいものを
食べたり!!
友達と色んな所を
旅して回ったり!!

そういう事は
生きてる内にしか
出来ないのよ!!

もっと
色んな経験をして
見聞を広める
努力なさいな!!
妖夢!!

いやしかし
幽々子さまは
死んでからも
それらを行ってる気が
しますけど…

いつも紫様と
遊んで回ってるし…

というか
今まで休暇なんか
頂けなかったのに
どうして急に
このようなの…

口答えは
無用よ!!
妖夢!!

とにかく
休暇を与えるから
しばらくあなたの
自由になさい!!

ズ
ズ
ズ

何なんだ?
一体!!

はあ...

妖夢の休日
一日目



スウ...

という事で
突然お休みを
頂いたので

今日は一日
剣の修行に
励んでみる

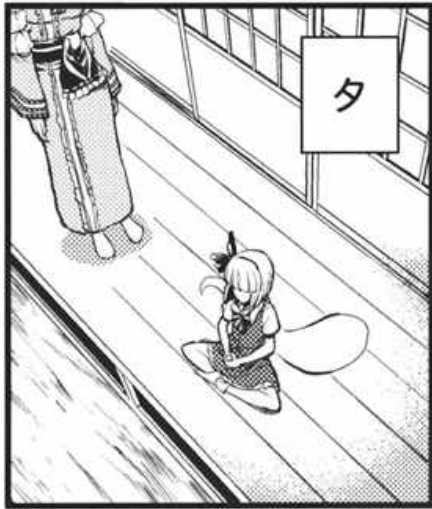
よむ!!

わわっ!?

妖夢の休日
二日目

剣の素振りをしていたら
幽々子様にも怒られて
しまったので

今日は座禅にて
精神の統一を図る



妖夢の休日
三日目

妖夢：私
言ったわよね：

休暇をあげるから
自由になさい：
見聞を広めなさい：
と…

…はっ

それなのに
やる事と言えば
一日中ずっと
素振りとか
瞑想とか!!

全然休日を
楽しんでないじゃ
ないのよ
この娘ったらあ!!

あいひやひや
ひやひやっ!!

し：
しかし幽々子様
私の剣は未だ未熟故
日々の修行を
欠かす事は出来ず：

それに見聞を広めるにも
まずは己の内なる心を
見つめ直す事こそ
重要にて…

そんな屁理屈は
どーでもいいわ!!

んもう：
これじゃあ紫の
言うとおりにじゃ
ないの…

えっ？

紫様が
どうかなさい
ましたか？

え…いや
別に…

……？



このまま
白玉楼に居たのでは
まともに休暇を
楽しむ事なんて
出来ないわ!!

下界にでも降りて
休日を楽しんで
らっしゃい!!



ともかく
妖夢!!



……ふあい

ふがが

で



それじゃあ
しっかりと休日を
楽しんでらっしゃいな

休日の間
どんな事をしてたのか
後で聞きますからね

はあ…



今度は冥界を
離れる事になった



妖夢くあなた私を
バカにしてるわね〜?

家事や料理くらい
私にだって出来るわよ〜

うげげっ
すっすいっ
すいませっ!!
あかっ!!



でも…幽々子さまは
私が居なくても
大丈夫なんですか?

家事とか料理とか
ちゃんと出来ますか?

ムッ!!

カチン!!



…へっ!!



そうそう妖夢 頭界へ行くなら
これを持って行きなさい

ゲホッ
重っ…!?
何ですか
これ…?
ゲホッ



満足するまで
帰って来なくても
いいからね〜

それじゃあ
いつてらっしや〜い



ゆゆゆゆゆ
幽々子さま!?!
何ですか
このお金は!?!

今までの
妖夢のお給料よ〜
休日を楽しむなら
お金も必要でしょう?

しかし
こんな
大金…!!

いーから
いーから♪

さて…
こうして顕界へ
来てみたもの

これから
どうするかな…

ザ
アアアアア...



とりあえず
何をしようかな

目の前の滝で
滝行でもしようか…



幽々子様にごんな大金を
いただいたちやうたけど
特に欲しい物なんて
ないしな…

こんなに
硬い切れないよ…

これだけ
お金があれば
当分は寝食にも
困らないが…

待てよ！
どうせ滝に打たれるなら
もっと大きな滝の方が
いいかな！

妖怪の山には
それは見事な
滝があると聞く！
その滝に打たれるか！

いや！滝行よりも
火行を試みるか？

地底の旧地獄へ赴き
地獄の炎に当たるのも
精神の鍛錬になるかも
しれない！

いやいや待て待て！！
わざわざ頭まで来たのは
休日を楽しみたいためじゃ
ないのか！！

休日は一人で滝行や
火行をしてみました！
など報告したら
また叱られてしまうぞ！！

しかし
休日を楽しめと言われても
正直どうすればいいのかわ
からないのが現実！

ずうっと冥界で
白玉楼の管理や
剣の修行しか
してこなかった
からなあ！

どうすれば
いいんだろなあ…

休日って…

はあ…

やいやい!!
なんだ
オマエは!?

ん?

ここは
あたいたちの
なわばりだよっ!!



よそもんが
勝手に入ってくるなんて
どういうつもりだいっ!!



ああ...それは
すいませんでした...
今すぐ立ち去り
ますので...



すいませんで
済んだら
博麗の巫女は
いらないんだっ!!

あたいたちの
なわばりを荒らすヤツは
全員ブチのめして
やるんだから!!



かかって来い
しんにゅーしやめ!!
決闘だ!!



1分後――

ちっくしよ〜!!

ゴロ

チルノちゃん
大丈夫!?

カチカチ

安心して下さい
峰打ちですから

何だよ
オマエ汚いぞ!!
武器を使う
なんてさ!!

いや剣を使うのが
私の能力ですし

貴方だって氷の能力を
使ってきたでしょう?

くっそ〜!!
次会った時は
絶対にやっつけて
やるからな〜!!

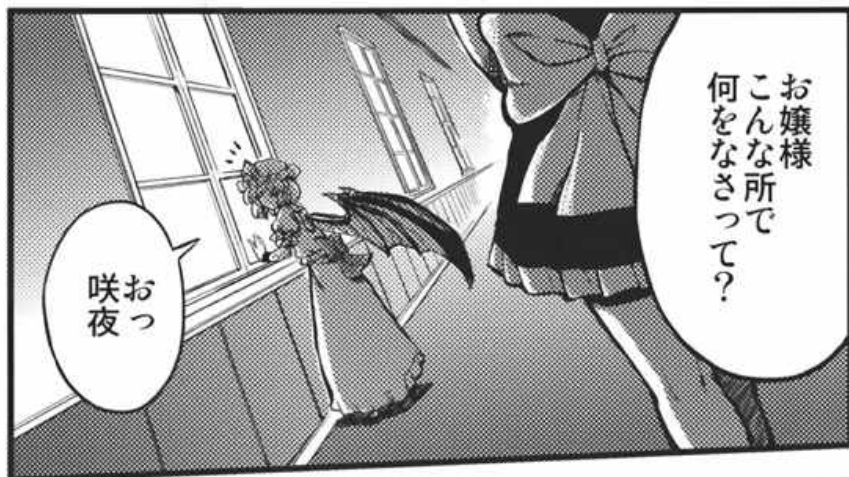
あたいが負けたと
思わない限りは
負けじゃないん
だからな〜!!

何だ
あれは…

しかし…

決闘…
そういうのも
あるのか…

待つてよ〜
チルノちゃん







この防御の上から







妖夢の休日
五日目

妖怪の山





速い...!!!

くっ...!!



うふふっ



うあっ!!



えっ!?

なっ...!!



一瞬で見失っ...!!!





おっと

ヒュッ

フンツ!!



ぐっ...!!



あやや...
防がれちやい
ましたか

素晴らしい
反応ですねえ



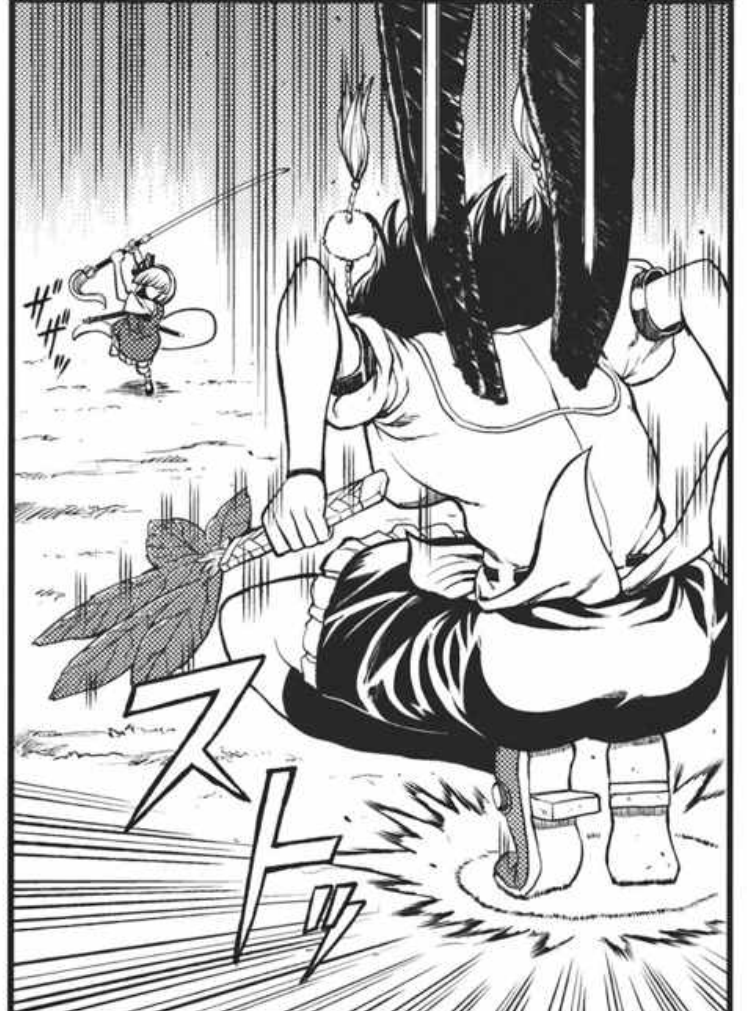
うふふっ

おおい
こわい
♪



ハァッ!!

ヒュッ



スト



気が付くと
姿ごと視界から
消えるとは…!!

速いのは
そつちでしよう!!

ちよつと気を抜くと
斬られてしまいそう
ですねぇ



ははおお
いやおい



私の剣が通じるか…
挑戦のし甲斐が
有るといふもの!!

それがこそ



恐るべき
速さだ!!!

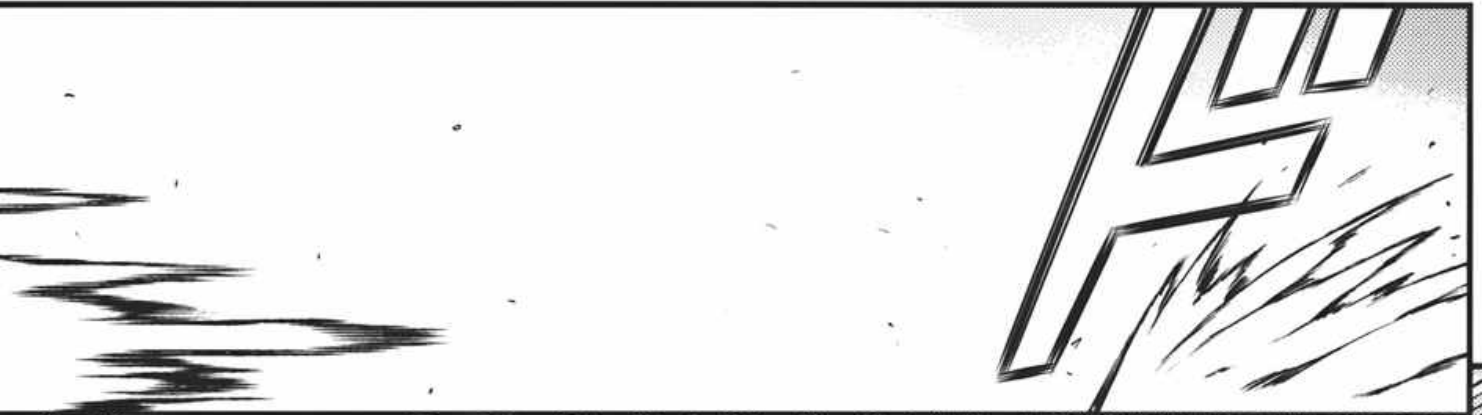
私の知る限り
これより速い者は
見たことがない!!

私の
最速の剣!!

受けてみよ…!!



むっ…





ッ!!

おちんニ...ニ





ふうっ…
…つと!!

あやややや…
今のは少しヒヤッと
しましたねえ…

瞬間的には私と
同等のスピードが
出せますか…



ふうっ!!



!なんと:
私の最速の剣を
持っでも

服を斬るのが
やっとは…



危うく胴体が
真つ二つに
なる所でしたよ

おお
こわ
わい
い
♪



恐ろしく
同じ速さ同じ技は
二度と通じまい

ならば…

己の限界を
越え

あやや...
まだ来ますか...

ニクニク...

如何なる攻撃も
一直線に
来るのみなら
避けるのは
容易いですよ!!



更なる
一撃を
繰り出す
の
み!!

フウ
ウウ







ちよっ!!
待ってください
文さん!!

私との
決着がまだ…



というワケで
後は警備隊に任せて
私はこの辺で
アディオス

えっ!?



ちよっ!!
まっ!!



おわっ!?



妖夢さんのお陰で
面白い記事が
書けそうですねエ
ムフフ♪

「冥界より放たれた
辻斬り剣士」…
今度の見出しは
コレで行きますか

うわあああ
あああああ

ド
ゴ
ズ
ザ
ア
キ
ヤ

いづくぞお
おおおお!!

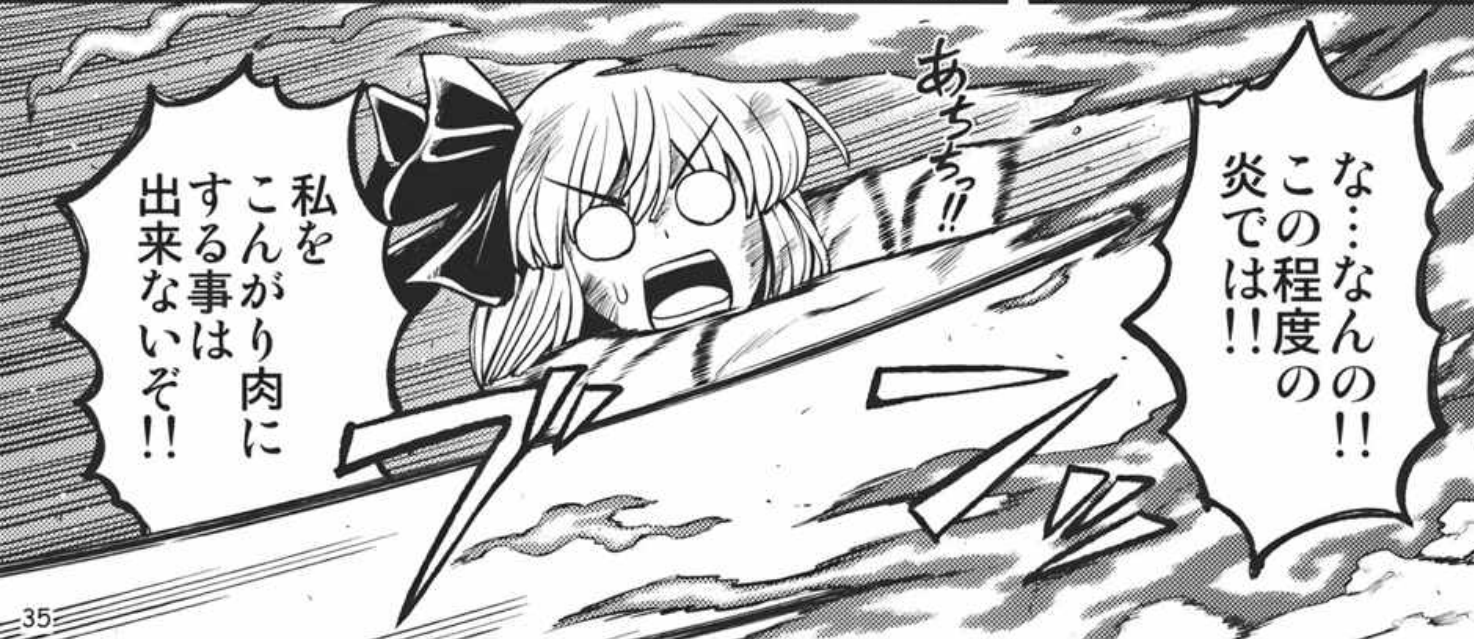
おりやあ!!

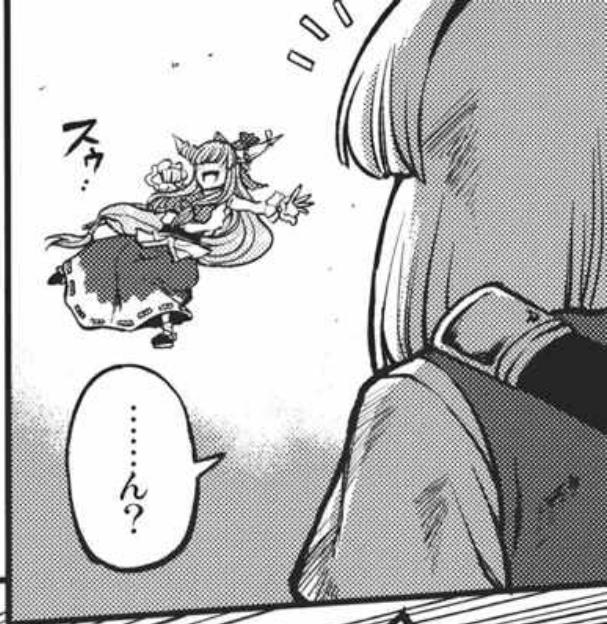


でやツ!!

おおっとお!!









妖夢の休日
七日目

ひまわり畑
パツティン
グセンター







妖夢の休日
八日目

何だあ？ お前が
文の新聞なんか
読んでるなんて
珍しいなあ



ふーむ...

ん？
魔理沙か...



いやちよつと
見出しの写真が
気になってね



何だこりや
妖夢じゃんか

『庭師をクビになった冥界の剣士
地上に降り立ち辻斬り三昧』...？



何やってんだ
アイツは...

まあ文の記事だから
どこまで本当か
分かんないけどね



そうだな...

にしても辻斬り相手が
萃香に幽香と妙に
強いヤツばつかだな



あいつら相手じゃ
逆に返り討ちに
遭いそうだが...

たのもオオオ!!



ん？



何しに来たのよ
一体…

おいおい
妖夢じゃないか

通行と
ホ○ホ○だな



ボロ

（はあ）

フラ
フラ
フラ



霊夢…

チャキ



今から
あなたとの
決闘を所望する!!



はは…どうやら
今度の辻斬り相手は
お前みたいだな？



WHY?

……はあ？

ちよつとちよつとオ
な—んで私がアンタと決闘なんて
しなきゃならんのかな？
そんな一銭の得にもならん事
するもんですかい!!

アンタも武士道を貫くなら
戦意の無い者と戦うなんて
しないわよねエ？

※やる気ゼロ↑

なるほど金になるなら
戦う気になるのか?

ならば…

私と
決闘して
勝った
暁には!!

この手持ちの
お金を全て
博麗神社に
奉納します!!

な…なんだ
その大金は!?

…って馬鹿かコイツ!!
そんな金を賭けて霊夢と
決闘なんて言ったら…!!

ア
ン
タ





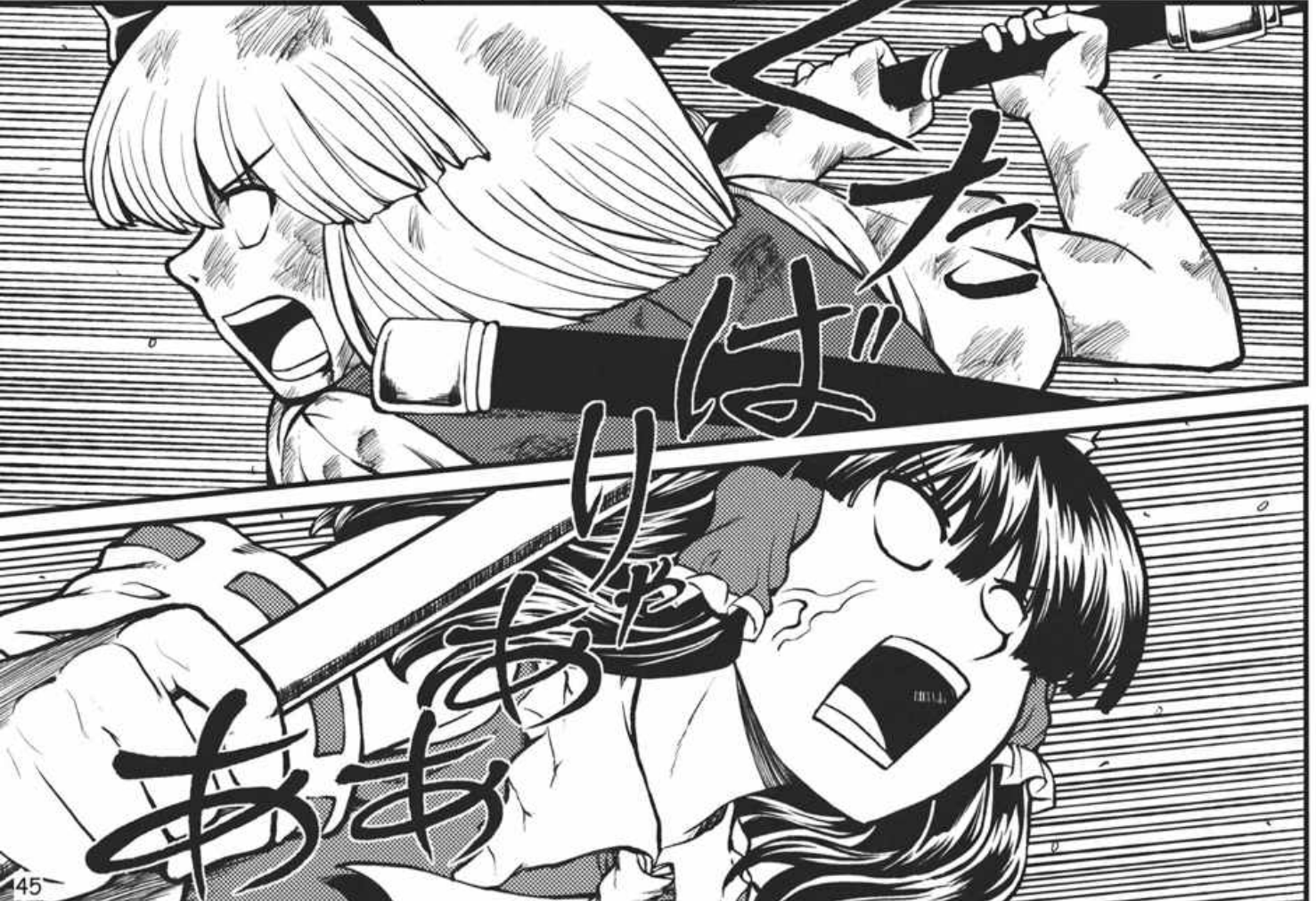
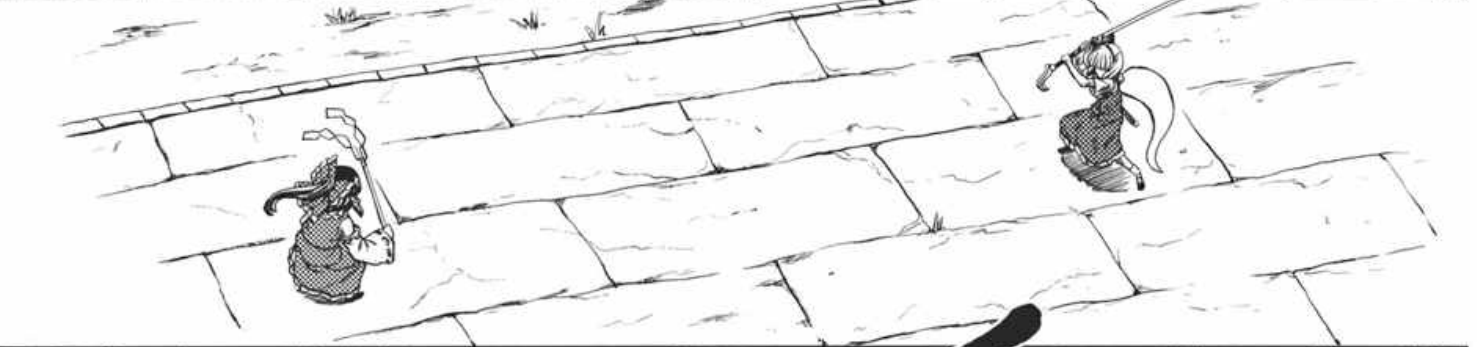
……
ですよね……

※殺る気MAX

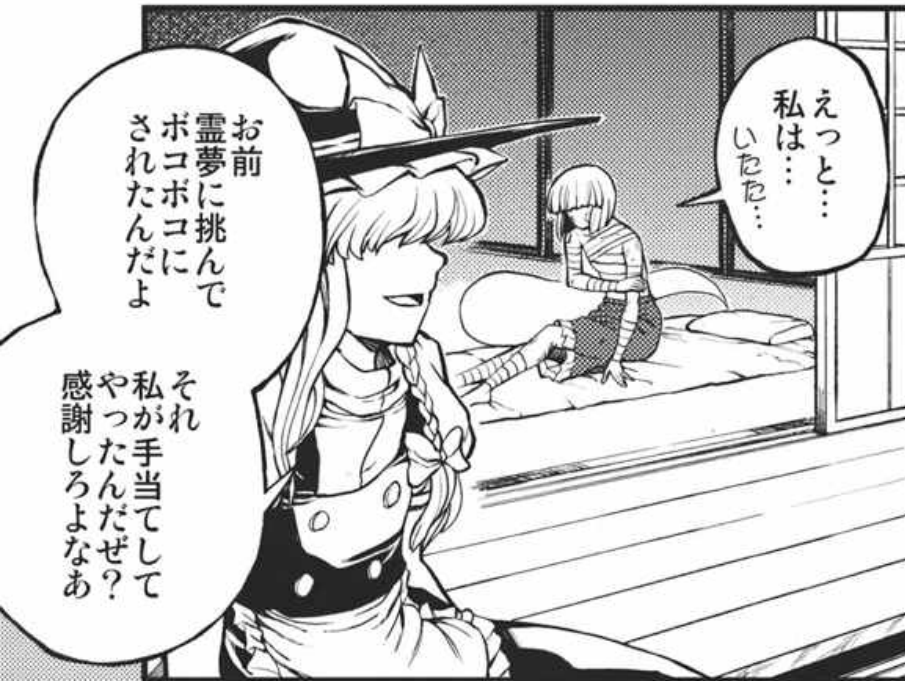
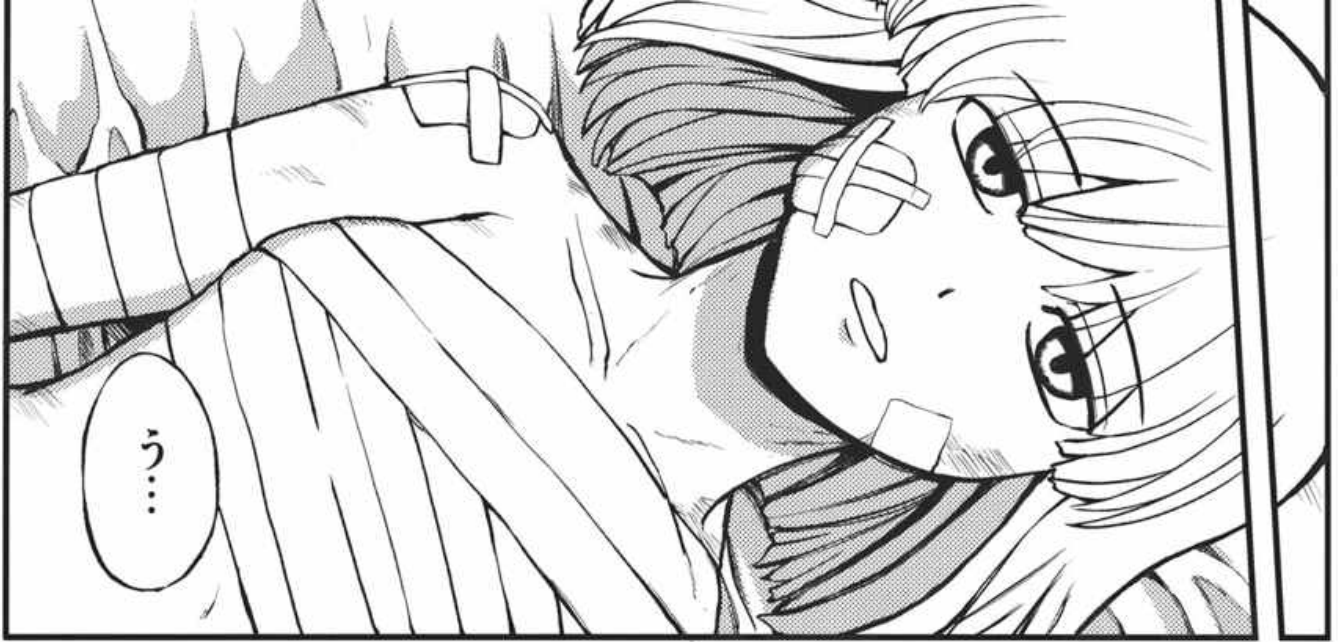


チヤキッ!

ふふふ……
どうやら戦う気になつてくれたみたいだな……!!









：幽々に
突然休暇を
貰ったけど

何していいか
分からんから
強いヤツ相手に
決闘巡りしてたあ？



そういう魔理沙こそ
休日は何を
しているんだ!?

何って別に：
図書館行って本を盗んだり
アリスの家に遊びに
行ったりしてるよ



何と言うか：
アホか？

どうして
そうなるんだ：

う…うるさいなあ!!
仕方ないだろう!?
休日なんて生まれて
初めてなんだから!!



それと
今日みたいに
天気の良い日は
ここにきて

霊夢と一緒に
夕日を眺めたり
してるなあ

ホレちょっと
こっち来てみるよ?

え？



.....

おお...



そんなのかって...
夜空を眺めるくらい
普通にするだろ?

へえ...
そんなのか?

いや...
夜も家事や幽々子様の
お世話をしてるし

それが終われば
朝早いから
すぐに寝てしまうな

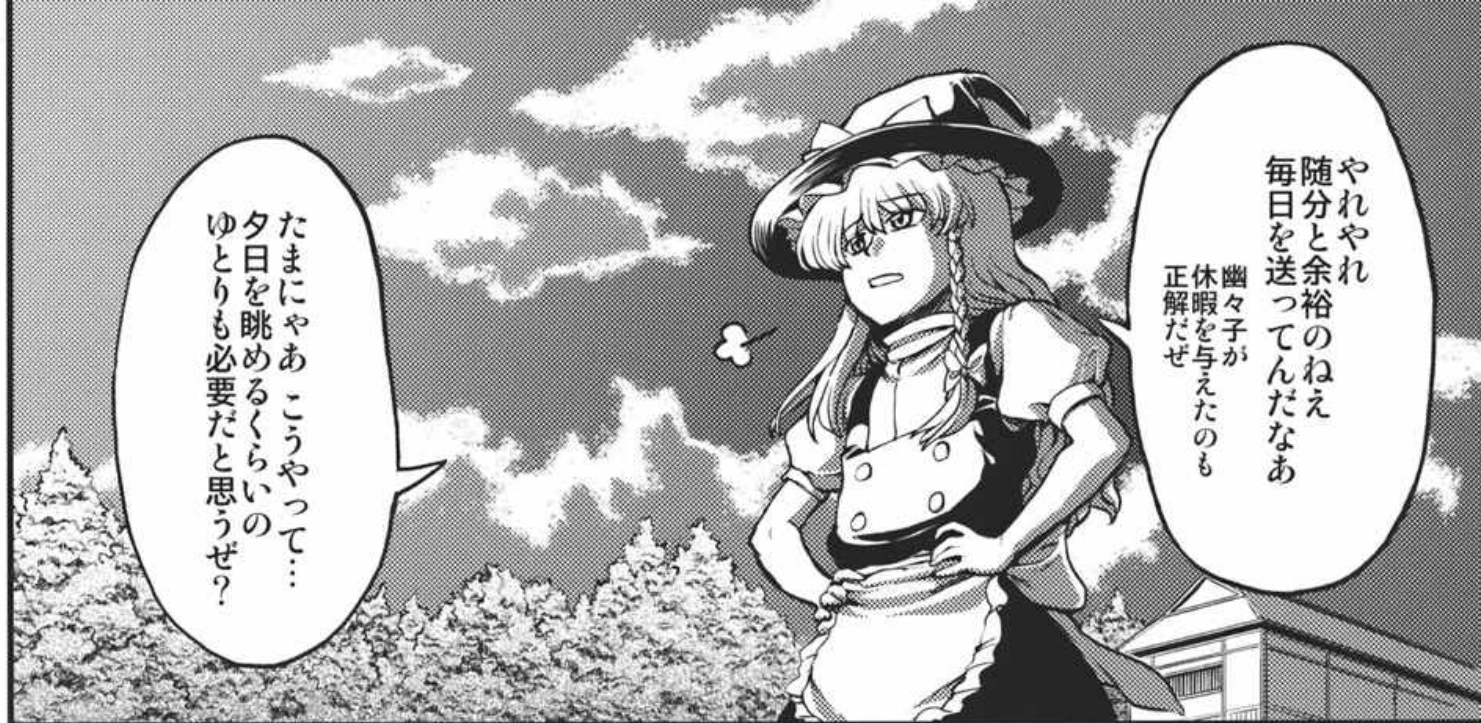
朝稽古も
あるしな...



これは何と
見事な...

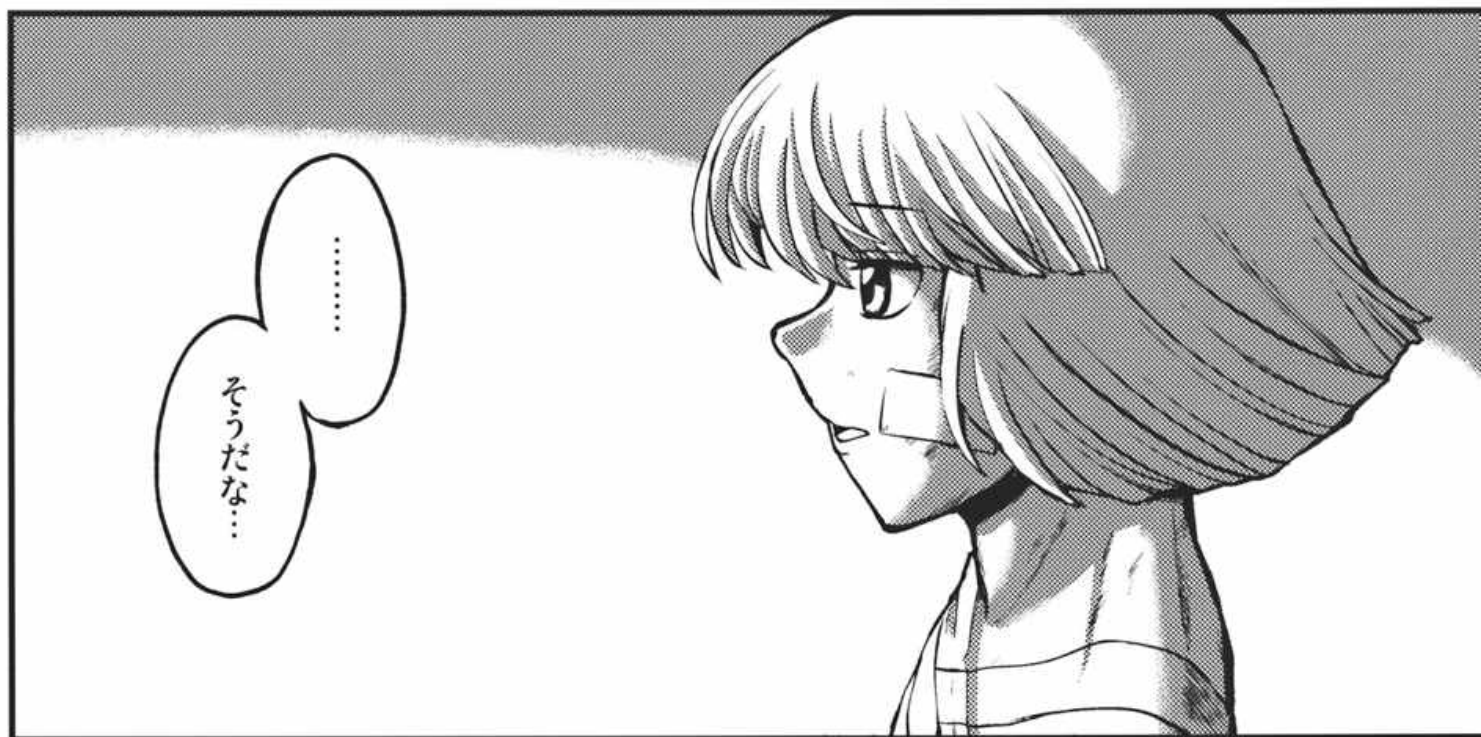
へへっ
そうだろ?

今日は
空気が澄んでるから
星空も綺麗だろうな...



やれやれ
随分と余裕のねえ
毎日を送ってたなあ
幽々子が
休暇を与えたのも
正解だぜ

たまにやあこうやって…
夕日を眺めるくらいのも
ゆとりも必要だと思っぜ?



……
そっだな…



魔理沙く!!
ゴハン出来た
わよ!!

おう!!

よっし!!
お前も一緒に
食おうぜ?

霊夢の作るメシは
美味いぜ!!

えっ?
いいのか…

っていうか材料費は
お前の金なんだから
遠慮なんてすんな!!

妖夢の休日
十一日目

もう
帰るの？

ああ

すまないな
三日も神社に寝泊まり
させてもらって…

いいって
気にすんなよ

ちよっと!!
何で魔理沙が
それを言うのよ!?

あんたまで
入り浸りおって!!

ああ妖夢
コレを持って
行きなさい

スッ

…?
これは?

…!!

私の
お金…!!

ヤラ

正直
なわけと…

…あんたが私に
挑んできた時は
既にポロポロ
だったからね

ま…奉納金は
有り金の半分に
しといてやるわよ

ど…どうしたんだ霊夢!
金の亡者のお前が
こんな行動を取るなんて!?

熱でも
あるのか!?

誰が
金の亡者よ!?

…
ありがとう
霊夢…

次に挑む時は
万全の態勢をもって
あなたに挑むとします!!

いやもう
決闘巡りなんて
すんなっつの!!

そしたら今度は
キツチリ有り金
全部戴くわよ!

フオオオ...

ゴッゴッ!!



何っか：
変わったヤツだなあ
アイツ：
真面目では
あるんだが

そうねえ...

しかしどういう
風の吹き回しだよ?
半分とはいえ お前が
貰った金を返すなんてさ

何なのよアンタ
さつきから人を
金の亡者扱いして...

私だって
鬼じゃないわよ...

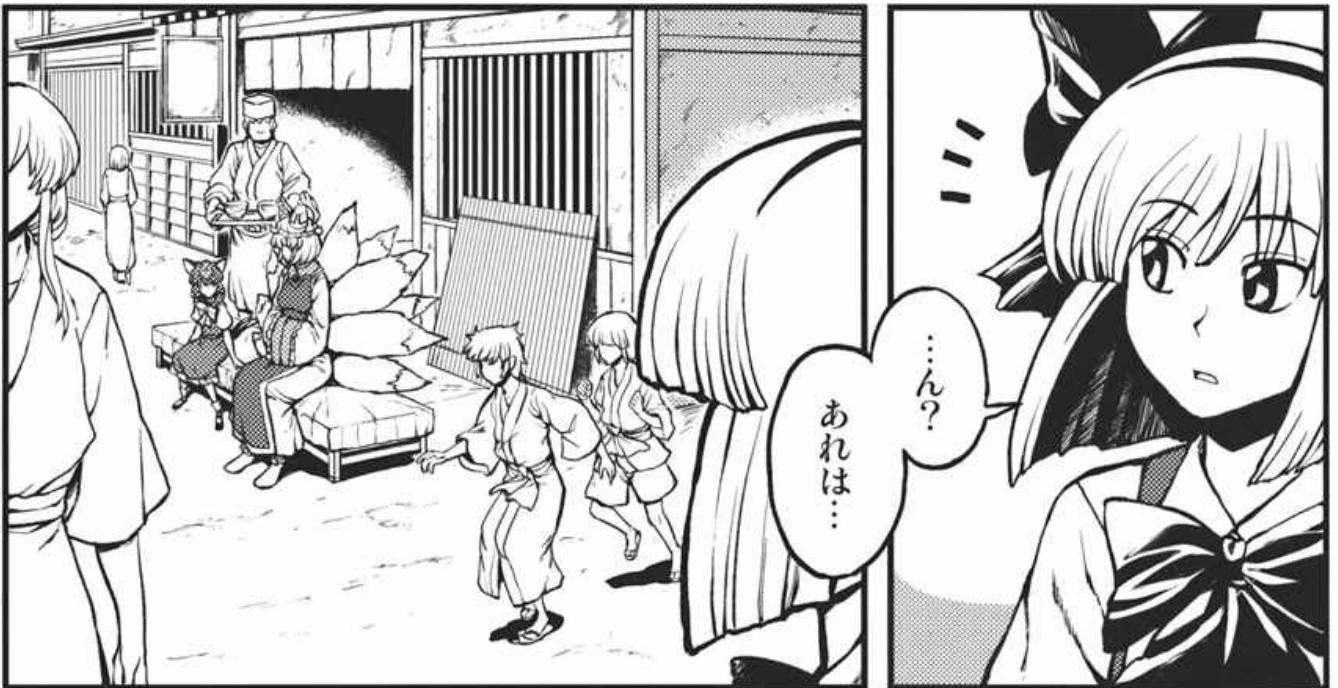
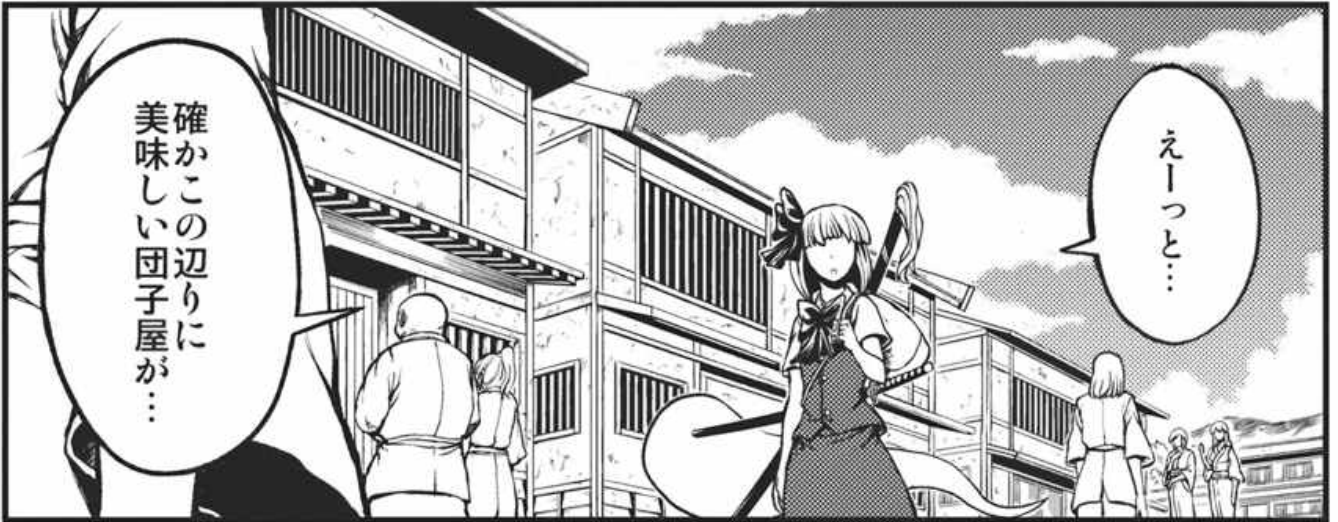
まあ
半分だけとは
言え...

これだけでも
当分は遊んで暮らせる
大金だしねエ...!!

ああ良かった
いつもの霊夢だ

ケケケケ!!







さっ!!
橙も熱いうちに
お食べ!!

はいっ!!

おおく来た来た!!
このキツネうどんは
絶品なんだよな

特に
この油揚げが
最高なんだ



へいキツネうどん
大盛り二つお待ち!!

でん!!



うおおお橙!!
お前は何て
優しい子なんだ!!

かばっ!!

苦しいです
藍様!!



えっ?
いいのかい!?

藍様
私こんなに食べ切れないんで
私の油揚げ食べてください

大盛りの量
多すぎです



ああ...ひよっとして
幽々子様から
休暇を頂いたのか?

えっ?
どうして
それを...



...何を
やってるんですか
藍様...

おっ
妖夢じゃないか
お前こそ
こんな所で何を...

ばたばた

ほら…この前に神社で
宴会があったらどう？
妖夢は来て居なかったが…

そこだな…

そういえば
今日は妖夢は
来てないの？

まあねえ
お盆の時期は
冥界の仕事が
忙しいからねえ

ちよつと幽々子
冥界の管理は元々は
あなたの仕事
でしょう？

それを妖夢に
全部押しつける
なんて…

健気な従者を奴隷や
馬車馬の如く扱うのは
感心しないわねえ

なによお？
紫だつて四六時中
自分の式を良いように
コキ使つてるじゃあ
ないのよ

あらあ？
そんな事
ないわよお？
ねえ藍？

あはは

そう
ですね…

紫様は一日の大半：
特に冬の時期などは
殆ど眠っておられますし

紫様がお休みに
なられている間は
私の自由にさせて
いただいていますね

ほぐれ
見なさい

む

なのにアナタと来たら
口々に休暇も給料もやらずに
一年中妖夢をゴキ使って…

たまには妖夢を
ねぎらつてやんなきゃ
駄目じゃないの？

まあ生まれてこの方
剣と仕事しか知らない妖夢に
休日なんか与えても

あのコの事だから
休みの間ずっと
剣の素振りとか瞑想とか
しちやいそうだけどね
ナハハハハ

紫様今日は
悪酔いしてる
なあ…

あなたの所の様な職場は
外の世界じゃあ
「ブラック会社」なんて
呼ばれてるのよ？

「白」玉楼なのに
ブラックとは
これ如何に？

なんちゃって

ぐぬぬ

ほむ
ほむ



何よお!! 白玉楼は
ブラック会社なんかじゃ
ないわよお!!

私だって妖夢に
ちやくんと休暇もお給料も
あげてますう!!

ブ
ニ

ブ
ニ



それで…
どうだった
んだ?

?
何がです?



…と
いうわけだ

はあ…

それで急に
休日や給料なんか
くれたのか!





楽しめたんじゃないかと思えます

多分…



ふうふうか

それ良かったは

ハイ



幽々子さま
ただいま
帰りました

……ん？



うっ…あ…あれっ…?

何だ…? 何か凄く怒ってる気配がするぞ…



妖夢：貴女 休日の間 下界で 何をしていたの…?

えっ? ああ… ちよっと 霊夢の所で お世話になりました…



嘘おっしやい!! 下界の者達を相手に 辻斬り三昧だったんでしようがあ!!

何なのよこの 新聞記事はあ!?

新文々 冥界剣士 辻斬御免

はあああっ!?

なな何ですか その記事は!?! 事実と違いますよ!! 捏造ですよ!!

休日は 辻斬りだなんて また紫に馬鹿に されちゃったじゃ ないのよお!! このっこのっ!!

誤解です!! 私がしたのは 双方合意の上での 決闘です!!

この娘ったら 今日という今日は 許さないんだからあ!!

あたたっ!! ちよっ!! やめっ!! あ…そ…そうだ!!!

ぽか ぽか ぽか



幽々子様!!
お土産にお団子を沢山
買ってきました!!

人里一の
名店のお団子で
ございます!!

オーケー
全て許します!!
早速そのお団子を
戴きましよう!!



ああ おいひい…
ほんろうに
おいひいわあ…!!
つぶあん
うまうま♪

ハク
ハク

幽々子さま!!
もうちよつと落ち着いて
ちやんと噛んで食べて
ください!!

今お茶を
淹れますから!!



本当に美味しいわよ
このお団子!!
妖夢も一つ食べて
みなさいな!!

はいはい…

おしまい



はあ…結局また
いつもの通りか…

しかし私にとつて
こうして幽々子様の
お相手をしている時が
一番落ち着くなあ…



いやそれ世間一般では
ただの『強盗』ってヤツだから

やあひち...



そうだわ!!
私も金持ってる連中を相手に
決闘巡りをして
みようかしら!!

そんで
決闘で勝ったら
相手の有り金を
全部いたたく!!
どうよ魔理沙
このアイデア!!

ま

ま

どうも、宮本龍一です。
「妖夢の休日」読んでいただき、どうもでした。

何というか、妖夢は生まれてこの方、休日も給料も貰えず
白玉楼にて働き詰めだと嘆いていたので(@文花帖)
じゃあ逆に妖夢に休暇やお金をあげてみたらどうなるか…を考えると
実際に妖夢は遊びなんて知らないし、お金をあげた所で欲も無さそうだから
何して良いか分からず、こんな感じになっちゃうんじゃないかなあ、という事で
今回の話を描いてみました。

今回は妖夢も描いて面白かったけど、色んな連中を相手に戦って
文とのスピード対決したりとか、萃香の多彩な攻撃なんかも
描いて楽しかったり。

しかし、ゆゆ様は普段は妖夢に休日も給料も与えずにコキ使うとか
白玉楼はどんだけブラックなのか。
病気になったら休ませてくれる、というだけでもマシなのだろうか。

というワケで、今回はこの辺で。
次回もまたよろしくお願いします。
それでは～。

2012/05/27 宮本龍一@VISIONNERZ

白玉楼に勤めてるんだが、もう私は限界かもしれない

1 名前:シ女 ◆myonmyon/M[] 投稿日:2012/5/27(日) 21:38:07.44 ID:Jw+br6zA0
職業は庭師。この職業、マジでやばすぎです。

入社日での出来事。

食材メモを渡される→指示された通り、色々な材料を調達する→レシピを渡される。

「これでおっけーと。んじゃ作って」

「え？」

「いや作ってって」

「あ、え？は、はい」

「お腹空いてるから、出来る限り早く作ってね」

そう言って去っていく館の主。

このまま悩んでてもしょうがない。とりあえずレシピをしてみるか。

タマネギがどうのこうの、うんたらかんたら…。鶏肉はどうのこうの…。

ワケわからないんですけど

幻想郷にネットが有ったら、妖夢は2chにこんなスレを建ててたかも知れないと妄想。

【妖夢の休日】

発行 :VISIONNERZ

発行者:宮本龍一

発行日:2012/5/27

印刷 :ねこのしっぽ

連絡先:<http://www.16.plala.or.jp/visionnerz/>(Web site)

visionnerz@silver.plala.or.jp(E-Mail)

原作 :上海アリス幻楽団 ~東方Project~



VISIONNERZ